

普及センターだより

「農業経営体育成セミナー」開講

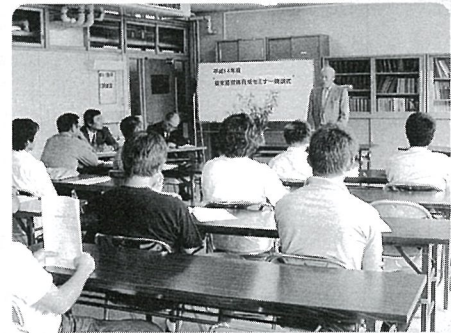
平成14年5月29日、山武農業改良普及センターで「農業経営体育成セミナー開講式」が行われました。千葉県指導農業士会・山武支部会長 作田 實さんからの激励のあいさつとともに本年度の「農業経営体育成セミナー」が開講しました。

「農業経営体育成セミナー」開講

「農業経営体育成セミナー」(以前は営農セミナーと言いました)は、学校を卒業して就農した人、Uターン・Iターンなど新規に就農した人を対象としたセミナーです。受講期間は3年間。1年ずつ基本、専門、総合の順に研修を行います。

はじめの基本・専門研修では、農業技術・経営の研修や地域の優良農家、市場、資材メーカーへの視察研修などをおして農業についての理解を深めることを中心に研修します。昨年、インターネット

上での農産物の有利販売についての講義や「道の駅」での農産物販売を手がける農事組合法人の視察、山武郡市内での観光農業を手がける方による講演会などを行いました。受講の最後の年に当たる総合研修では、各自の経営に密着したテーマを選定し、調査や分析をおしてプロジェクト活動をしています。昨年、プロジェクト内容は、土作りや新資材の施用試験、乳牛の飼料給与の改善やパンジーの花色による販売動向調査、インターネットでのサイト開設によるネットワーク作りと多彩で、生産技術+マーケティング



今年も6月の経営相互訪問を皮切りに技術研修、パソコン研修など行っていく予定です。最近農業を始めた方だけでなく、興味のある方はご連絡下さい。連絡先 山武農業改良普及センター 0475-5410227

文芸

俳句

妃殿下の御名の薔薇や淡く咲き
梅雨の朝紅涙あふるる薔薇アーチ
今閑満喜子
瀬戸内の島島隠し梅雨曇り
庭隅へキャラメル投げる蟻の列
小林 順子
子供等のひたい集めし蟻の道
山寺の磴を下りて蟻の列
福田 幸子
鷺の白際立たせ居る青田かな
聖域を指す如くに蟻の列
玉虫 栗扇
梅雨に入る日本列島長きかな
梅雨しどさるばば吊るしキノマ
茶屋 (飛騨古川) 戸村 静華
掃かれてもはや列正す蟻の道
梅雨の部屋眼鏡にルーペ重ね読む
藤代 ゆう
老い一人語るもありて蟻の友
孜孜として蟻一列や何急ぐ
今閑 茂生
蟻の列横に傾げる猫の顔
梅雨晴れ間猫のふとんも干してやり
若梅あやめ
新聞を読む手冷たし梅雨寒く
多羅葉に一句を書いて梅雨籠り
故 土屋 栗水
藁一本野川に架けて蟻のみち
蟻一匹暁の海を迷ひ居り
選者 山口 一秋

短歌

紫のまた白藤の花見つ
「ふじ」とふ名前の亡き人思ふ
西山満里子

手入れよき芝生を踏みし足裏に
草立ち上る気配を覚ゆ
宇井 ちい

臆面もなく抱き合ふ若きらに
座席かへたり古都ゆく電車
吉岡 信子

自らを焼きたる夕陽沈みゆく
明日の光りを培ふために
永藤 滋

鋸を選びある人はじ弾きては
耳寄せまたも弾き返せり
佐瀬 初音

咲き盛る藤の花房風にゆれ
紫の滝ふとも思へり
押尾 輝子

徳川の歴史、文化を垣間みつ
戸定が丘の美しき庭
真家ふじ子

庭先に咲きたる花は都わすれ
いつも年より丈の高しも
故 石井 ユク

リラの花咲く庭隅を通る度
すがし香りに足の止まる
池田 春江

山藤の花咲く梢ゆらしつつ
吹きくる風は香りのせ来る
萩原 信一

康文の百歳にまた一年近づきぬ
同窓生は吾のみとなり
故 土屋 源吾

指先の失せたまひたる
浄行菩薩束子になほもみ身拭はるる
(柴又の帝釈天)
選者 斎藤つね子

